継がれた想いは未来に続く

福田地区では、今年から子育て世代が集まり地域の文化や風土を子どもたちに伝えようと活動する「福田エン会」が結成されました。

メンバーとしてイベントの企画・運営に携わっている佐藤改さん。佐藤さんは「コロナ禍に続き小学校再編で福田小学校が閉校となり、学校と地区で協力して開催していたイベントが無くなりました。このままでは子どもたちだけではなく、私たち大人も福田地区も同様に地域性や人との繋がりが希薄化していくと思い、福田エン会を結成し、花見や田植えといったイベントを開催しています」と話します。続けて佐藤さんは「時代は大きく変わっています。しかし、子どもの頃、福田地区のお祭りなどで感じた〝楽しい〟という想いは今も変わらずに私の中にあります。当時の大人たちがしてくれたことを、今度は、僕たちが子どもたちにしてあげようと思うんです。この想いもきっと子どもたちに継がれていくと思うので」と目を細めて話します。

未来へ残したいもの
子どもたちに伝えたいこと
それは生業や伝統芸能
この町での暮らしなど様々でした
しかし、そのどれもが
私たちの町にしかない文化です。
少子高齢化や担い手不足などの
多くの問題と直面する今だからこそ
「つぐ」ということを
もう一度考えてみませんか？
「つぐ」ことは私たちの住む町の
「未来（つぎ）」へ続いているのです
つぎ、つづく－完－